

平成30年

壱岐市議会定例会12月会議

# 行政報告

壱岐市

# 目 次

<b>1. はじめに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
（1）入札に関する長崎県警察本部からの意見について	2
（2）長崎県への要望書の提出について	2
（3）離島航空路線活性化にかかるシンポジウムの開催について	3
（4）有人国境離島施策の推進について	4
（5）壱岐市自治基本条例について	5
<b>2. 交流人口の拡大</b>	
（1）観光振興について	6
（2）低炭素のしまづくりについて	6
（3）婚活事業について	7
（4）地域おこし協力隊について	8
（5）壱岐ウルトラマラソンについて	8
<b>3. 産業の振興</b>	
（1）農業の振興について	10
（2）水産業の振興について	12
<b>4. 教育</b>	
（1）教育施設の環境整備について	12
<b>5. 防災、消防・救急</b>	
（1）防災について	13
（2）消防・救急について	14
<b>6. 議案説明</b>	
（1）補正予算について	15
（2）その他の議案について	16
<b>7. おわりに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16

# 行政報告

平成30年壱岐市議会定例会12月会議

## 1. はじめに

本日ここに、平成30年壱岐市議会定例会12月会議にあたり、前会議から本日までの市政の重要事項、及び今回補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

まず、中原 康壽 副市長が、一身上の都合により10月31日付けで辞職したことをご報告申し上げます。

さて、平成30年秋の叙勲において、本市から、元壱岐市消防団副団長の西口 千治 様が瑞宝単光章を、第31回危険業務従事者叙勲において、元壱岐市消防司令の倉富 和男 様が瑞宝単光章をそれぞれ受章されました。

また、平成30年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を、芦辺小学校の学校支援会議「清石の会」が受賞され、平成28年度の筒城小学校の放課後子ども教室「白砂の会」、平成29年度の渡良小学校の学校支援会議「渡良っ子サポート会議」に続く3年連続の受賞となりました。

次に、平成30年度ながさき農林業大賞において、本市からは農産部門で農事組合法人 池田仲下 様が、しまの農林業経営部門で山石 吉彦 様、山石 知治 様が長崎県知事賞をそれぞれ受賞されました。

さらに、本年の県民表彰において、消防・防災功労として、多年

にわたり壱岐市消防団副団長等を務められた おおかわ まさのぶ 大川 正伸 様が、社会福祉功労として、多年にわたり民生委員及び児童委員を務められている やまぐち くにこ 山口 邦子 様が、また、優良団体（交通安全・防犯）として多年にわたり沿岸部における各種防犯活動に取り組んでおられる壱岐地区沿岸警備協力会が、それぞれ受賞されました。

この度、叙勲、表彰の栄に浴された皆様に対し、今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。

#### **（１）入札に関する長崎県警察本部からの意見について**

長崎県警察本部から、壱岐市の建設業界において、入札に関し問題があるとの情報に基づき、その実態解明の捜査を行ったことについて、11月13日に説明を受けました。その一環として、中原 康壽 前副市長及び市職員にも事情聴取が行われておりますが、警察本部からは、その結果について前副市長及び市職員に対して、警察として何らの措置及びコメントはなく、今後、行政として、より適正な入札が行われるよう入札制度のあり方等について、研究してほしいというものでした。

警察本部からの意見を踏まえまして、さらなる適正な入札制度等について研究してまいります。

#### **（２）長崎県への要望書の提出について**

長崎県への壱岐市及び壱岐市議会連名の単独要望を11月12日に行いました。中村知事をはじめ、幹部職員に対応していただき、本市からは、やまもと けいすけ 山本 啓介 県議会議員にも同席していただき、10項目

の要望書を小金丸議長とともに知事へ提出しました。その中で本年度の重点要望項目として、「空港の整備等について」、「長崎県介護福祉士修学資金貸付事業について」、「九州地方知事会議等の離島開催について」の3項目をご説明申し上げました。

このうち、「九州地方知事会議等の離島開催について」では、来年春の九州地方知事会、九州地域戦略会議が長崎県での開催であり、本会議を壱岐市で開催する予定である旨の説明がありました。

これを受け改めて感謝を申し上げますとともに、今後、県と十分なる連携を図り、万全の態勢とおもてなしの心で対応してまいります。

各要望書の案件については、本市にとって極めて重要な内容であり、ご理解をいただくよう引き続き協議を重ねてまいります。

### **（３）離島航空路線活性化にかかるシンポジウムの開催について**

壱岐市国境離島新法制定民間会議空港整備促進期成会主催により、「離島航空路線活性化にかかるシンポジウム」が、12月15日（土）午後6時30分から、壱岐島開発総合センターで開催されます。

これは、現在、運航されている航空機の機種ダッシュエイトQ200が、更新時期を2020年から2022年までに迎える予定とされる中で、現在、後継機の選定等検討がなされておりますが、こうした現状を市民皆様にもご理解いただき、壱岐市における空路存続に向けた機運を盛り上げることを目的に開催されるものです。

先に申し上げたとおり、知事へ「空港の整備等について」を要望いたしましたが、『現在のところ、来年度更新時期を迎える1機に

については、同型機種のQ200を後継候補として選定を進めようと考えている。その後は、「持続可能な地域航空のあり方研究会」の動向にも十分留意しながら、機種を選定についても検討を進める。また、滑走路延長には莫大な費用がかかり、公共事業としてしっかりと採択を得ていく必要があるものと考えており、そういった際には具体的にどういう機種、どのような形で運航していくのかといったことが必要になり、引き続き今後の推移を見極めながら、十分検討を進めていかねばならない。』ということでした。

私は、機種によって離発着が出来る出来ないということは対症療法としか考えられず、将来の壱岐市のために、最低限1,500mの滑走路整備を強く要望したところであり、山本県議からも、滑走路の延長という選択肢を排除せずにご支援いただきたいとの後押しをいただいたところです。

いずれにいたしましても、壱岐の空港が機種如何に関わらず、離発着が可能となるよう、滑走路の延長に向けて、引き続き要望等を行ってまいりますので、議員各位、市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### **(4) 有人国境離島施策の推進について**

本法律の重要な柱の一つである雇用機会拡充事業については、8月に第2次の審査会を開催し、事業拡大4件を採択しました。これによって、平成30年度の雇用創出予定数は67人となっております。

また、11月11日には滞在型観光促進を進めるため、谷川 弥一

衆議院議員、長崎県議会 離島・半島地域振興特別委員会委員長  
たくしま としかず  
宅島 寿一県議会議員、山本 啓介県議会議員ご出席のもと、U I タ  
ーンの方を中心とした若手による「有人国境離島振興に係る第3回  
意見交換会」、その後各種団体の代表で構成される「第2回壱岐市  
有人国境離島法有識者懇話会」を開催しました。会議では、活発な  
意見交換が行われたところであります。

今後さらに離島振興を加速化させるためにも、市民皆様、そして  
県・市が一丸となり取組を進めていく所存であります。

#### **(5) 壱岐市自治基本条例について**

自治基本条例は、自治の基本原則及び市政運営に関する基本的事  
項を定めることにより、市民皆様、市議会、行政等が互いに理解を  
深め信頼し合う関係を築くことで、市民皆様を主体としたまちづく  
りの実現を図ることを目的とした条例です。これまで、市民代表  
の30人で構成される壱岐市自治基本条例審議会において、平成26  
年11月から計8回にわたりご審議いただき、その後、内容の詳細  
な部分についての協議をワーキンググループ会議という形で2回開  
催してまいりました。

本年9月に第3回のワーキンググループ会議と第9回の審議会を  
開催し、最終的な素案についてご協議いただきました。

その後、10月にパブリックコメントを実施し、市民皆様から幅  
広いご意見を賜り、そのご意見について第10回の審議会でご協議  
いただき、11月22日に答申書を受理いたしました。審議会の答  
申を受け、今回、壱岐市自治基本条例の制定について議案を提出し

ております。

今後、市民皆様のご理解をいただきながら、少子高齢化や人口減少による様々な課題等に対し、市民皆様、市議会、行政等が一丸となってその解決等に取り組んでいける体制づくりを図ってまいります。

## 2. 交流人口の拡大

### (1) 観光振興について

本市における観光客数を推計する上で参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの8月から10月までの乗降客数累計は、229,424人、対前年比108.1パーセントでありました。

開館9年目を迎えた一支国博物館は、10月21日に入館者数90万人を達成し、11月末現在91万2,371人となっており、市民皆様をはじめ多くの方々にご来館いただいております。

また、壱岐市を幅広くPRしていただくために、タレントの「ちんねん」さんへ壱岐市観光大使を委嘱しました。11月10日の農協まつりの折りに、壱岐市観光大使とJA壱岐市農畜産物PR大使のダブル任命式を行い、当日はNCC長崎文化放送による生中継も行われ、17日も壱岐の特集が組まれる等、今後、壱岐市を積極的にPRしていただけるものと期待しております。

### (2) 低炭素のしまづくりについて

平成28年度に実現可能性調査と事業化計画策定を行った木質バイオマス資源の再生可能エネルギー導入活用については、前回調査

結果の小規模でのエネルギー活用は可能という結論になりました。これに基づき、公共施設等での自家消費を基本とした木質バイオマスエネルギー設備の平成31年度中の導入実現に向けて、8月末に公益財団法人日本環境協会の100%補助事業に応募をしていましたところ、10月30日に交付決定をいただいたところであり、今回、所要の予算を計上しております。

### **(3) 婚活事業について**

人口減少対策の一環として実施している婚活事業「第6回イキイキお結び大作戦」を11月3日と4日に壱岐市内で開催いたしました。

女性参加者には、事前に壱岐を知っていただくため、9月に福岡市内にある壱岐ゆかりの店において、「女性向けセミナー」を開催し、19名の方にご参加いただきました。

一方、壱岐在住の男性参加者には、10月にコミュニケーション方法や心構えなどを学ぶ事前セミナーを開催しました。

当日は、素晴らしい秋晴れのもと、福岡（15名）・熊本（1名）、遠くは東京（2名）・神奈川（1名）から女性参加者を迎え、男性19名・女性19名の大作戦となり、9組のカップルが誕生しました。カップル成立者には、3週間後男女ともにフォローアップセミナーを実施したところですが、今後も、一人でも多くの成婚者、移住者の増加となるよう、工夫を凝らした婚活事業を実施してまいります。

#### (4) 地域おこし協力隊について

「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢等の進行が著しい過疎地域等において、都市部の人材を積極的に受け入れ、概ね1年以上3年以下の期間、地場産品の開発、農林水産業への従事等、地域協力活動を行っていただき、地域に定住・定着を図ることを目的とした制度です。

本年度は、7月2日に壱岐市観光連盟担当として島居 英史<sup>しまい ひでふみ</sup>さん、7月18日に健康運動プランナーとして市原 未湖<sup>いちほら みこ</sup>さん、8月17日にふるさと商社担当として中村 陽子<sup>なかむら ようこ</sup>さん、10月1日に企業研修等誘致担当として小林 伸行<sup>こばやし のぶゆき</sup>さんの4名を委嘱したところです。

今後は、それぞれの分野で、これまで培ってこられた経験を十分に発揮して、本市の活性化に寄与されることを期待しております。

#### (5) 壱岐ウルトラマラソンについて

10月20日に開催した「神々の島 壱岐ウルトラマラソン2018」は、多くの皆様からご協力をいただき、おかげをもちまして事故もなく、盛会に終了することができました。大会運営にご協力をいただきました皆様へ、改めてお礼を申し上げます。

本大会には、北は北海道から南は沖縄まで全国各地から、さらには海外からもご参加いただき、昨年を上回る728人のエントリーをいただきました。

大会当日は、天候にも恵まれ、100kmに448人、50kmに207人、総勢655人のランナーが出走されました。

沿道の市民皆様のあたたかいご声援が、健脚を競うランナーの大

きな力となり、完走率は100kmが72.8%、50kmが87.0%でした。

ランナーの皆様からは、「次回も友人を誘って参加したい」、「景色も、途切れない沿道の声援も素晴らしかった」、「毎年の進化が止まらない大会」、「子どもたちの手作りの、のぼりや手紙に大変元気が出た」など嬉しい声が寄せられました。本市の大会は、全国のランナーが集まるインターネットサイトのランネットにおける大会ランキングでは、ウルトラマラソン大会の部門で全国2位の評価をいただいております。

過去2回の反省点や課題等を検証し、実施した今回の壱岐ウルトラマラソンは、官民連携によるおもてなしがより充実したものとなり、経済効果も考慮すると、まちづくりイベントとして大きな成果を挙げたものと捉えております。

長時間にわたる本大会を献身的に支えていただいたボランティアの皆様、沿道からのあたたかい声援やコース周辺の交通規制等、円滑な大会運営にご理解をいただいた市民皆様、協賛及び支援をいただいた事業所及び各種団体の皆様など、今大会を支えていただいた全ての皆様に心から感謝を申し上げます。

参加されたランナーの皆様をはじめ、ボランティアスタッフ、スポンサーや関係機関、団体の皆様の大会運営に対する声を一つひとつ真摯に受け止め改善を図り、日本一のウルトラマラソン大会を目指し、今後も取り組んでまいります。

### 3. 産業の振興

#### (1) 農業の振興について

本年度の水稻の作況指数は、長崎県全体で104、壱岐においては107と平年を上回る発表がなされました。11月14日現在、早期米については、高温の影響により、「コシヒカリ」は全て2等でしたが、高温耐性のある「つや姫」については、全て1等でした。普通期米については、出穂期の水不足のため、「ヒノヒカリ」については全て3等でしたが、「にこまる」、「なつほのか」については全て1等の好成績となっております。

葉たばこについては、5月上旬の強風や6月下旬の立枯病の発生、7月の台風による落葉等により、壱岐全体の平均収量は、10アール当たり206kgと昨年と比較すると大きく減少となりました。10月10日から16日にかけて行われた葉たばこ販売では、1kg当たりの代金は2,143円と昨年よりも上回り、品質レベルは高かったものの、10アール当たり代金は442,309円と昨年を下回りました。

畜産については、4年後の全国和牛能力共進会鹿児島大会を見据え、産地間競争に打ち勝つための牛づくりと、「壱岐牛」のさらなる銘柄確立を図ることを目的として、10月25日に第9回壱岐市和牛共進会が開催されました。各地区から選考された55頭が集う中、第1部は勝本の<sup>とよさか としふみ</sup>豊坂 敏文 様、第2部は志原の株式会社 <sup>のもとぼくじょう</sup>野元 牧場 様、第3部は石田の<sup>おおたに ひでお</sup>大谷 英夫 様、第4部は勝本の<sup>やまぐち りょうぞう</sup>山口 領三 様がそれぞれ優秀賞を受賞され、その中で第4部の山口 領三 様は、

グランドチャンピオンを獲得されました。

9月18日に福岡食肉市場で開催された「肉牛の部」には、28頭が出品され、株式会社 野元牧場 様が見事金賞を獲得されました。本共進会を通じて、さらなる肉用牛農家の生産意欲の高揚と経営安定が図られることを期待するものであります。

肉用牛経営における子牛の販売は、繁殖農家の減少に伴い全国的に高値で推移しておりますが、肥育農家においては厳しい経営を強いられております。12月1日、2日に開催された子牛市では、平均価格が10月市と比較し、1頭当たり約2万6千円増の平均84万8千円となっており、依然高値での取引となっております。今後も、産地維持のため関係機関と連携を図り、繁殖基盤の強化を推進してまいります。

また、緑化推進活動の一環として、11月3日に筒城浜一帯において、「森林のつどい<sup>もり</sup>」を開催し、市内の緑の少年団や各小学校の児童並びに保護者による植樹活動や育樹活動を行いました。当日午前で開催された、壱岐地区緑の少年団地域交流会では、市内4つの緑の少年団の活動発表が行われ、芦辺緑の少年団が優良発表団体に決定され、今月8日に開催される長崎県交流集会へ出場します。これらの活動は、次代を担う子どもたちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育て、ふるさとを愛し、人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的に、意義深い活動となっております。

農地・農業用施設等災害については、平成29年度発生分、国庫補助金交付決定箇所<sup>1</sup>の10月末現在の発注状況は、526地区中

241地区で約46%の発注率、事業費総額5億円で査定決定額比の約55%となっております。現在、発注を進めておりますが、その一方で、受注業者においては、発注件数が多いため、技術者及び建設資材等が不足し、受注ができない状況となっており、発注計画の見直しを国・県と協議しております。関係農家の皆様には、大変ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## **(2) 水産業の振興について**

本年4月から10月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年同期と比較しますと、漁獲量は、1,709トンで11.8%の増、漁獲高は、16億2千2百万円で15.0%の増収となっております。漁獲量、漁獲高とも増加していますが、漁場環境の悪化によるスルメイカの不漁や資源管理のためのクロマグロの漁獲抑制等が影響し、依然として漁家及び漁協の経営は大変厳しい状況が続いております。

クロマグロの漁獲制限については、県に対し、資源管理による水揚げ減少に対する支援の充実と代替漁法への転換に対する支援の拡充など、国への働きかけを要望いたしました。

水産業の振興を図るため、今後も、漁業者の皆様そして各漁協をはじめ関係機関と連携を図り、有人国境離島法による制度を活用した施策など積極的に取り組んでまいります。

## **4. 教育**

### **(1) 教育施設の環境整備について**

今年の、気象災害とも言われる猛暑を受け、児童生徒等へ健康被害を及ぼさないように、熱中症対策として、小・中学校普通教室へのエアコン設置に向け、早急に必要な機種等の調査を進めることを、前回9月会議において報告をいたしました。

その後、平成30年度国の第1次補正予算で新たな国庫補助制度として、「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」が創設されました。

今回の臨時特例交付金は、平成30年度補正予算において臨時特例的に創設されたもので、今後、継続的に活用できるものではないことから、普通教室への設置を最優先することとし、次年度、平成31年度の小・中学校の普通教室予定数150室（芦辺中学校を除く）及び幼稚園の保育室数10室について要望を行いました。今回、補正予算に設計・監理業務及び設置工事費について所要の予算、また繰越明許費を計上しております。今回議決をいただきましたら、来年6月末を目途に実施してまいります。

次に、芦辺中学校校舎改築工事及び改修工事は、6月27日に本契約締結後、9月1日から基礎コンクリート杭打ちに着手しております。進捗状況は、約2カ月程度の遅れがあり、毎月2回の工程会議を重ねていますが、工期内完成が大変厳しい状況にあり、関係工事業者の一層の取組を強く要望しております。

## **5. 防災、消防・救急**

### **(1) 防災について**

壱岐市市制施行15周年を記念した「防災サミット」を、11月17日、長野県諏訪市の金子市長様をはじめ、災害時相互応援協定を締結している、神奈川県秦野市、静岡県伊東市、また協定を通じて交流のある岩手県北上市、新潟県柏崎市、静岡県富士宮市、東京都日野市、並びに本市と友好都市を提携している兵庫県朝来市、友好交流宣言を締結している福島県楡葉町の9市町から市長、副市長等のご参加をいただき開催しました。人口減少と高齢化が進む社会環境の中での災害対策のあり方を議論し、地域防災とまちづくりと題した基調講演等、及び防災サミット宣言を行いました。大変有意義な内容で、盛会裏に終了することができましたことに対し、ご参観いただいた方々をはじめ関係者皆様に厚くお礼を申し上げます。

原子力防災について、県知事及び松浦市長、平戸市長、佐世保市副市長と共に、原子力災害時の避難対策等の充実を求めて、11月20日、内閣府原子力防災担当の山本政策統括官に要望活動を行いました。本市としては、離島であるが故の避難の難しさを訴え、その対策を要望しております。

また、11月22日には、本市で6回目となる原子力安全連絡会が長崎県主催で開催され、県、市、九州電力、各関係機関の代表者16名が出席し、玄海原子力発電所に関する防災対策などの情報の共有化と意見交換を行っております。

## **(2) 消防・救急について**

今年度は、6月に発生した大阪北部を震源とする地震や7月の豪雨、9月に北海道で初めてとなる震度7を観測した北海道いぶり胆振東部地震

による甚大な被害が発生しており、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

本市においては、10月5日に台風接近があったものの、幸い大きな被害は発生しておりません。また、本台風接近に当たっても早めの警戒体制を取るなど対策を行ったところであり、今後とも防災対策に万全を期してまいります。

本年1月から11月末日までの火災・救急発生状況は、火災33件、救急1,582件となっており、昨年同期と比較しますと、火災が13件の増、救急が26件の減となっております。

去る11月9日には、勝本中学校及び周辺地域において、消防訓練を実施いたしました。中学校における火災発生時の学校職員の初期対応及び消防職員、消防団員の防ぎょ技術の向上を図り、各関係機関との連携強化を図ることができました。

さらなる火災予防の啓発と消防力の強化に努めてまいります。

これから年末年始にかけては、火災の発生しやすい時期となります。市民皆様には、火の取扱いなど十分ご注意願います。また、これからインフルエンザの発生しやすい季節となりますので、手洗い・うがい等感染対策及び健康管理に注意されるよう合わせてお願いいたします。

## 6. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

### (1) 補正予算について

本議会に提出しております平成30年度補正予算の概要は、

一般会計補正額 13億6,200万円

各特別会計の補正総額 △244万4千円

となり、一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

13億5,955万6千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、

294億6,280万円

で、特別会計については、

90億7,337万9千円

となっております。

## (2) その他の議案について

本日提出した案件の概要は、長崎県市町村公平委員会の規約の変更等に係る案件1件、条例の制定・改正に係る案件5件、予算案件7件であります。

何とぞ十分なご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。

## 7. おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月4日

老岐市長 白川 博一